

第14回独立行政法人海技教育機構契約監視委員会 議事概要

1. 日 時 令和4年6月24日(金)
2. 場 所 契約監視委員会委員及び関係者によるメール開催(メールによる書面審査方式)
3. 出席委員 (敬称略) 越水 豊 (委員長) 一般社団法人日本船主協会 海事人材部長
谷川 陽子 有限責任あずさ監査法人
パートナー/公認会計士
見上 博 富山高等専門学校 名誉教授
小林 健司 独立行政法人海技教育機構 監事

4. 議 題

- (1) 令和3年度の契約について
- (2) 令和3年度調達等合理化計画の自己評価について
- (3) 令和4年度調達等合理化計画(案)について

5. 概 要

(1) 令和3年度の契約について

今回審議対象とした令和3年4月1日から令和4年3月31日に締結した契約について、「1者応札・1者応募となったもの」、「随意契約によらざるを得ないもの」及び「委員が抽出した応札案件」について、審議されました。

○審議対象契約 142件〔内訳：物品64件、役務72件、工事6件〕

(2) 令和3年度調達等合理化計画の自己評価について

令和3年度調達等合理化計画における「2. 重点的に取り組む分野」及び「3. 調達に関するガバナンスの徹底」の自己評価について審議により了承されました。

(3) 令和4年度調達等合理化計画(案)について

令和3年度調達等合理化計画の実績を踏まえた令和4年度調達等合理化計画について審議により了承されました。

6. 主な意見等

- ・「海技教育機構閉塞及び情報通信ネットワークの契約更新」について、当面、随意契約とせざるを得ないと考えますが、契約期間は毎年更新することになるのでしょうか。
→複数年契約とした場合、長期利用割引が適用されますが、契約期間中に回線の廃止をすると違約金が発生するため、1年毎の契約更新としています。
- ・「海技教育機構ホームページ・CMS運用保守等委託業務」について、受注事業者の能力・実績等の条件を外すことで、一者応札が解消し、コスト削減の可能性が増すと考えられますか。また、「海技教育機構閉塞及び情報通信ネットワークの契約更新」とパッケージとして同一業者と契約をした方がトータルコストを抑えられる可能性は考えられますでしょうか。
→機構の情報発信源として活用しているホームページを運用するにあたっては、専門的な知識や技術が必要とされます。そこで、より安全かつ円滑なホームページ運用のためにはこれらの条件を満たす業者に委託する必要がある、そのための最低限の能力・実績の条件は必要だと考えております。なお、条件をつけても十分他社での対応は可能だと考えますが、より多くの業者が入札に参加できるよう、契約日を早めに設定することも検討いたします。また、パッケージ化については、業務内容はそれぞれ専門性の高い分野であるため、両契約の条件を満たす業者が限られてしまい、一般競争入札が成立しない場合や、仮に同一業者により両方の契約を成立させたとしても、コスト増となる可能性があると考えます。
- ・「海技大学校東教室耐震補強等改修工事」について、準備期間の設定は適切でしょうか。また、追加工事に係る履行期間等の設定は適切でしょうか。
→当該期間に対応出来る多数の業者が入札に参加しており、特定の者に有利な条件にはなっておらず、適切であると考えます。また、追加工事に係る履行期間等については、受注者から延長の申し出がなかったため、適切であると考えます。
- ・「令和3年度調達合理化計画に対する自己評価」について、入札参加を検討する時間的余裕の確保を目的として公告期間を長期に設定したこと、及び令和2年度から開始した発注予定案件の公表について公表の対象範囲を拡大したことは、公平性を向上する点においても評価できます。また、コストの縮減・調達業務の効率化のために不断の見直しを実施し、入札資料の電子メール交付やリース料削減等に努めたことは評価できます。どちらも継続していただきたく存じます。
- ・ガバナンスの徹底については、契約監視委員に提供する随意契約に係る資料等の改善を提案致します。
- ・コロナ禍においても内部監査を充実した点、並びに会計事務を新たに担当することになった職員等の研修参加については不祥事発生未然防止に繋がり評価できます。
- ・「令和4年度調達等合理化計画」については、継続的に取り組むことで事務コスト及び調達コストの縮減を意識付け、予算の効率的な執行に努めていることに異存はありません。継続を期待します。
→今後も継続して調達事務の効率化に努めて参ります。また、ガバナンスの徹底につきましては、資料の改善の検討を行い、準備して参ります。